

富山県武道館整備基本計画改定版(案)に対する意見募集(パブリックコメント)へのご意見及び県の考え方について

- 1 意見募集期間 令和5年8月1日(火)～8月18日(金)
- 2 意見件数等 意見提出のあった通数 120 通
- 3 意見の内訳 提出された意見件数 187 件

項目	件数
① 施設のコンセプトと役割	4
② 施設の活用イメージ	9
③ 立地場所	88
④ 施設機能及び施設規模	48
⑤ 施設整備にあたり考慮すべき事項	27
⑥ 整備費と整備スケジュール	6
⑦ その他	5

4 主なご意見の概要及び県の考え方

「ご意見」欄は、趣旨が同じご意見はまとめた上で、趣旨を踏まえて要約しています。

①施設のコンセプトと役割

No.	ご意見	県の考え方
1	<p>日本の伝統文化の一つである武道、これを次の世代に伝承していくにあたって、新武道館の建設は非常に重要なファクターであると考えます。ほかの競技も同様ですが、競技を正しく普及し、強化して行くという目的を考えると、その競技専用施設を準備するということは、その競技の趣旨や特性を理解するという意味では重要で、今回の武道に特化した施設という選択は正しいものであったと考えております。</p>	<p>令和2年4月に策定した「富山県武道館整備基本計画（以下「現行計画」と言います。）」では、①武道競技の振興・競技力向上、②スポーツ振興・健康増進、③地域活性化・防災力向上の3つの施設のコンセプトを設定していたところですが、「富山県武道館整備基本計画改定版（案）（以下「改定版」と言います。）」においては、「富山県武道館整備基本計画の見直し検討委員会（以下「検討委員会」と言います。）」における議論を踏まえ、施設のコンセプトを①武道競技の振興・競技力の向上に絞り込み、整備を進める案としました。今後、目標としてきた令和9年度中の開館を目指してまいります。</p>
2	<p>当初計画から比較しても、会場のダウンサイジングのみならずコンセプトまでを覆す根底からの変更を余儀なくされています。 「そもそもこの計画は何を満たす必要があったのか」すら判然としない状態となっており迷走状態と言えます。 「武道館のみの計画」であっても、今までの計画を無意味に引きずり不必要な立地・不必要な規模に固執して、無駄に予算をかけすぎていると考えられます。 現状ではいったん本計画を白紙に戻し仕切り直すこと、その上で正式な「武道館計画」として正しく県民に理解を得るべきである。</p>	<p>資材高騰等により増嵩した整備費の削減、基本計画策定後の建設予定地周辺における環境変化を踏まえた機能・規模の見直しなどが必要となったことから、現行計画の見直しに取り組むこととし、検討委員会を設置し検討を進め、改定版を調製したところです。現行計画の見直しにおいて、施設のコンセプトと役割については、老朽化した県営富山武道館と県営高岡武道館がこれまで果たしてきた役割を踏まえたうえで、建設予定地周辺における環境変化、既存周辺施設の立地、検討委員会での議論を経て、現行計画にある3つのコンセプトを「武道競技の振興・競技力向上に寄与する施設」に絞り込んだところです。</p>
3	<p>武道がメインの用途とするにはコストがかかりすぎるので音楽イベントや富山グラウジーズのホームアリーナとしての使用を想定すべきだと考えます。2012年に射水市で行われた柔道インターハイはアルビス小杉総合体育センターで行われたため、必ずしも武道メインの施設を新設する必要は無いと考えます。</p>	<p>アリーナ構想については、健康・スポーツ環境充実検討会（平成30年8月～令和元年8月）において、「多額の整備費、維持管理費がかかるが、経済波及効果が高いとは言えず、整備について多くの県民の理解が得られないのではないか。」という結論が出されています。 また、新武道館は、現在の県営富山武道館と県営高岡武道館を統合し、本県の武道の拠点に相応しい施設として整備することとしています。</p>

②施設の活用イメージ

No.	ご意見	県の考え方
4	<p>全国レベルの競技会等の開催、年間を通じた武道の競技力向上、青少年の健全育成、県民の健康保持増進を目的とした施設。 その他スポーツ庁が提案する武道ツーリズム推進。外国人観光客を対象に伝統的要素が強い「武道」とカジュアルな「BUDO」体験できる施設。 観光をとおして武道ファン・競技人口を拡大させる。 （学生書道パフォーマンス&ダンス場、生け花ライブパフォーマンス場、ランニングコース、ラウンドフィットネス）</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見	県の考え方
5	「武道館」というと、堅いイメージがあるが、武道以外の競技でも多くの人に使ってもらえるよう、PR やサービスの向上に努めてください。	武道競技者だけでなく、武道競技以外でも活用できるもの、また、県総合運動公園を利用される方々なども気軽に立ち寄れるものとなるよう、今後、設計の中で工夫してまいります。
6	「武道競技の振興・競技力向上に寄与する施設」とするために、武道関係者だけでなく誰もが気軽に立ち寄れて、長時間滞在できる施設とすることが重要ではないでしょうか。	
7	武道に励む家族がいます。新しい武道館の建設は嬉しいですが、武道に関する人たちのためだけでなく、県民みなさんが誰でも利用できるような施設であって欲しいと思います。 私自身は武道をやってはいませんが、運動はしたいので、館内に雨の日にも利用できるランニングコースを設置したり、トレーニングルームやヨガやダンスなどができるスタジオやスペースがあるといいなと思います。	
8	施設の活用イメージに、卓球・バトミントン・ソフトバレー・ダンスとありましたが、剣道や少林寺・空手道など裸足で競技をするのですが、同じ会場で内履きを使用する競技が利用することに違和感を覚える。床のワックスも武道用と、アリーナ用では違ってくるのでメンテナンスがかなり大変なのが容易に想像できる。	施設の運営について、専門家や関係団体等のご意見などをよくお聞きして対応してまいります。

③立地場所

No.	ご意見	県の考え方
9	駐車場は最低でも 300 台は確保してほしい。	改定版では、300 台程度駐車場を整備できると見込んでいますが、できるだけ多く駐車場を確保できるよう、検討してまいります。
10	現状では武道館機能だけに着目して県総の駐車場の議論をされているように感じますが、今回土木工事をするのであれば、この際あわせて中長期的に県総周辺をスポーツエリアとして県民が集まるスポットとして充実させていく視点も必要だと思います。 そうした観点から、県総の駐車場を最低でも 1,000 台程度は増やす考え方をしていただきたいと思います。	
11	新武道館は駅付近に建設すべき	公共交通の利便性や自動車利用については、検討委員会で熱心にご議論いただいた論点であり、また、現在の武道館利用者への聞き取り調査を行ったところ、県総合運動公園は、他の候補地に比べ、公共交通機関による利便性は劣る一方、県内全域あるいは県外からの自動車利用において優位性があるとされたところであります。
12	私は、場所については、子供など運転できない人も通いやすい場所が良いと思います。当初案の現在駐車場の場所や五福公園は公共交通機関が充実し、遠方からも通いやすいです。それが無理なら、現武道館を改築し、バリアフリー化、耐震化したらよいと思います。	今後、県総合運動公園内に整備することにより、①武道館と既存施設活用の相乗効果の発揮、②官民連携のパークマネジメント導入の検討、③カターレ富山や公共交通機関との連携など県総合運動公園の魅力向上について検討してまいります。

No.	ご意見	県の考え方
13	公園内陸上競技場でJリーグの試合を開催しているカタール富山も集客が伸び悩んでいます。これは自動車利用を前提にした立地の影響が大きく、他県からのアウェイサポーターも不満を訴えています。この施設は自動車を運転しない児童や生徒の利用が特に多く見込まれるので、富山市が進める鉄軌道を中心にしたコンパクトシティ政策の効果を高めるためにも、公共交通の利便性に優れた民間駐車場敷地もしくは五福公園での整備が望ましいと考えます。	同上
14	候補地選定基準に基づく評価が甘い。この資料による候補地決定は不備があり、候補地は再検討が必須である。	
15	富山市東部に住んでいますが、県総合運動公園に作るのは遠すぎます。特に富山市南部は公共交通のアクセスが良くないです。現在2歳の子どもを育てていますが、子が中高生になったとき武道をやったとして大会であそこまで行くのには親の送迎が必要になり、かなりの負担になると思います。やはり公共交通でアクセスしやすい千歳町か五福につくるのが最適だと思います。	
16	武道館を半年に一度、あるいは年に数度利用する場合ならともかく、実際に武道を習う人にとっては、週何回か武道館に通うことになる。週2回の場合、月8回武道館に通うことになる。その場合、アクセスの良さが「継続して武道を行う」ことにつながる。交通の便が悪い場所に武道館が出来た場合、武道館に通うにはかなりの労力を必要とする。子供達の武道教室に通う意欲も衰え、武道人口の減少に拍車をかけることにつながるのではないかと懸念している。富山駅周辺のアクセスの良い場所を選定すべきである。	
17	市中心部から遠く、鉄道でのアクセスがない場所になってしまうのは非常に残念である。利用が増えないと無意味な箱物行政と言われてしまう可能性もあり、拙速に進めることなくもう一度検討をお願いしたい。 予算の都合で建設場所が変わってしまい、利用が見込めないような場所になるのはもはや新たな県武道館を建設すること自体が目的となってしまう、何のために県武道館を建設しようとしていたのか、今一度考え直していただきたい。	
18	建設予定地に関して地域、年齢等々によってそれぞれの思い、願いに違いはあると思います。が、委員の方々によって示された場所で良いと思います。 なによりも、若い方々のために早期着工、完成、使用できるようにしてあげてください。	
19	富山市南中田の富山県総合運動公園の中が最適です。富山インターからのアクセスが抜群、県内大会はもちろん、全国大会や北信越大会の開催も、最高級で絶賛されるでしょう。近隣県の武道館と比較しても、最高の立地条件です。富山県武道館は、絶対に、富山市南中田の富山県総合運動公園の中が最適です。	

No.	ご意見	県の考え方
20	<p>我が家は子供達や孫たちも長年剣道をやっていますが、経験者として新保の運動公園の方が最適だと思います。理由は大きな防具を持つての移動は車でないとかなり無理を感じます。武道館の条件の一つには今時大きな駐車場が必要です。また、国道41号線が近いのと高速道路のインターも近く県外からも参加出来て県内からも混雑もしにくいと感じます。そして新たな土地買収のコストや時間も短縮されるので私は既存の新保の運動公園を推します</p>	<p>同上</p>
21	<p>富山県武道館の移転場所は富山市中田の富山県総合運動公園が最適かと思えます。理由は来られる方の移動交通手段は自家用車やバスが多く駐車場が無いと困ります。剣道の場合、武道具の運搬もありますので車で来られる方がほとんどだと思います。ぜひ駐車場確保ができる県総合運動公園で決定をよろしくお願いたします。</p>	
22	<p>公共施設は、県民全体の利便性を最優先すべきだ。交通渋滞が常態化している富山駅周辺や五福方面・県中央病院周辺は、集客を目的とする施設の建設には、検討段階で問題外だ。渋滞回避のインフラ整備が先ではないか。車で移動できる魅力ある県外の施設に、人が流れていることを認識すべきだ。</p>	
23	<p>県を跨ぐような大きな大会を開催するためには、それなりの大型バス等発着ができる余裕が必要である。県のスポーツ振興の顔にもなる県武道館は大型かつ高速交通事情に長ける県総合が良い。子供達が通い易いという観点で五福があげられているようだが武道に必要な防具など抱えて通う場合は結局車の送迎しかない。慢性的な渋滞地帯が適地とは言い難い。</p>	
24	<p>現県営武道館を利用させていただいていますが、毎回駐車場を確保するのに苦労しています。その上で、新しく建築される武道館は駐車場がしっかり確保できている事と、車がスムーズに運行できる富山市南中田の県総合運動公園内がベストだと思います。</p>	
25	<p>富山県武道館の建設地は富山市中田新保地区の富山県総合運動公園にすべきと考えます。 剣道競技者は自動車による防具の持ち運びが必要であり、総合運動公園は駐車場敷地が十分にあります。また北陸自動車道富山インターチェンジに近く、国道41号線に隣接して交通の便がかなり良いのです。是非、よろしくお願いたします。</p>	

No.	ご意見	県の考え方
26	試合の有無に限らず、建設予定地となる広場は親子連れの利用者が多く憩いの場を潰すことになると考えられます。	今後の設計において、芝生スペースをなるべく残すことについて、検討します。 なお、クロスカントリーコースは、引き続き、ご利用いただけるよう建物の配置を検討してまいります。
27	現利用者への配慮がされていない。芝生広場やクロスカントリーコースは、子供から年配者までの憩いの場所で富山県としても自慢のできる場所であり、素晴らしい芝生広場を無くすことは利用者として考えられない、また代替場所も提案されていない。	
28	予算が足りないのであれば、現状と同等の規模の小規模の観客席のみとして、整備費を抑えることはできないでしょうか。柔道の場合は、県内に小杉総合体育センターという大会開催会場に適した代替地もあります。無理に新しい富山武道館に複合的な機能を付与しようとせず、現状の富山武道館と同等の設備で建て替えし、日常的な武道の練習環境を整備していただきたいです。	現在の武道館が狭あいで、老朽化していることから、新武道館の施設機能及び施設規模については、「武道競技の振興・競技力の向上に寄与する施設」として「主道場」、「武道場」を備え、大規模な武道競技の公式大会を開催できるよう、近年整備された近隣の県立武道館と同程度の規模を確保することとしたものです。
29	武道館を週2回利用しています。立地場所について、車がないので駅近くが通いやすいのですが。規模について、武道に特化した内容そこまで大きくしなくても。	
30	<p>県総合は立地が悪く車でアクセスが前提になり利用者にとって不便極まりないです。特に学生にとっては親の送迎が必須となる事が想定されます。建設場所については必ずしも富山市である必要はありませんが駅から徒歩圏内であることは必須だと思います。</p> <p>私は県総合をホームスタジアムとするカターレ富山のサポーターですが立地の不便さは日頃から感じています。</p>	ご指摘の公共交通の利便性の確保は重要なことであり、今後、その向上が図られますよう検討してまいります。
31	現在の武道館で日々練習している少年・少女達への距離的な配慮はどう考えているのか。結果として、足が遠のくことにならないのか。	
32	<p>富山駅等の市中心部から公共交通機関（バス）に乗って通う利用者也考慮し、新武道館の閉館時刻を踏まえうえて、富山駅と新武道館間における十分な数の往復便を整備する等、多くの人が通いやすい武道館とすべきです。</p> <p>私は県内で合気道を習っています。素敵な新武道館で稽古できる日を楽しみにしております。</p>	

No.	ご意見	県の考え方
33	<p>富山市南中田地内はバス停が遠く、休日のバスの本数も毎時三本程度と多くなく、またバス停がどこにあるのかもわかりにくいという問題があります。これはマイカー利用者であればあまり不便とはならないのですが、学生など、マイカーをもたない者の利用を考えた場合、著しく問題になる点であると、私は考えます。</p> <p>また、近隣に県総合陸上競技場やイタイタイ病資料館、ますのすしミュージアムなど、県の観光集客において重要な施設があるにも関わらず、それらへの公共交通が貧弱というのであれば、そちらも同様に問題であると私は考えます。県が公費で運営する施設への公共交通が貧弱で、マイカー頼みだというのは、県民の利用機会の均等という面で不公平がありますし、また、周辺の観光施設に県外の観光客を誘致する面においても、集客の機会損失が発生してしまいます。</p> <p>なので、富山県武道館を富山市南中田地内に整備するこの期に、周辺のバス停やバス路線を県主導で整理統合して、武道館周辺の県の施設や民間の観光施設への公共交通網を一体整備するべきだと私は提案します。</p>	同上

④施設機能及び施設規模

No.	ご意見	県の考え方
34	<p>1階武道場が施設レイアウトに記載されているが、畳敷き3面、板敷き3面となっており、複数団体が同時に利用できるように可動間仕切りの設置を検討するとなっておりますが、せめて畳敷きと、板敷きの間は、別にしないと、小さな大会はもちろん、毎日の教室もお互いの掛け声や応援・竹刀の音等で、声が聞こえないため複数競技同時開催できないでしょう。別の教室同時開催はまずできない。(長野県や新潟県は、柔道・剣道場別々に建設しており、特に長野県は、間に中庭があり距離を開けて、同時開催できるように工夫もしている)</p>	<p>武道場の間仕切りについては、専門家や関係団体等のご意見などをよくお聞きして対応してまいります。</p>
35	<p>武道場の柔道場については、畳の常設と小中規模大会ができる常設観覧席が必須である。可能であれば常設3試合場が理想であるが、現在の常設2試合場、仮設2試合場であれば利用しやすい。現在の富山武道館の観覧席 200 席程度では少なく、常に観覧者に迷惑をかけている。400～500 席程度はほしいところである。</p>	<p>武道場の試合場を確保しつつ、観客席をできるだけ多く設けられないか、今後の設計において検討してまいります。</p>
36	<p>棒体操やヨガなど、健康増進のためのフィットネスに利用できる、軽運動スペースを作ってほしい。</p>	
37	<p>武道などに限らず、幼児や児童などを含め誰でも運動、遊びに利用できるスペースもあれば、平日の利用も増えるのではないかと考える。</p>	
38	<p>鏡張りのスタジオが望ましい。空手や少林寺拳法は型の稽古に使える。また、ヨガ、ダンス、よさこい舞踊等利用の幅が広がる。多目的ホールは、少人数の運動はもちろん華道展や発表会、文化的な目的でも利用できると面白いと思います。大がかりなものではなく、誰もが借りやすい広さだと良いかと思えます。</p>	
39	<p>武道館というと剣道、柔道が主にイメージされるが、華道、茶道、書道、ダンス教室、軽体操など気軽に使える共有の運動スペースを設けてもらうとなお間口の広い県民に愛される施設になると考える。</p>	
40	<p>県総合運動公園建設前提として、こんな発想いかがでしょうか。日本の言葉の表現に『文武両道(文武二道とも)』この日本文化表現する言葉「多くの〇道 文道・武道」を最大限に利活用し、全ての表現・競技者の憧れの聖地・修練の場として世の中に送りだし発信、館の魅力・付加価値としては、いかがでしょうか。</p>	<p>幅広い県民に活用いただけるよう、武道競技以外のスポーツ等でも利用できるよう配慮する必要があると考えており、床面に金具が不要な種目(卓球、バトミントン、ソフトバレーボール、ダンス、ヨガなど)や文化活動(茶道、華道、書道など)についても利用できるよう検討してまいります。</p>
41	<p>武道とはちょっと違うかもしれませんが、茶道や華道・書道といった日本文化を体験できる利用できる場としても素敵なのではないかと思えます。他にはない富山の武道館を、観光の拠点として海外にも紹介できますよね。</p>	
42	<p>武道を理解するにあたって、そこから派生する文化道(華道、茶道、書道など)を理解することも歴史や意味を理解する上で重要であり、武道を究めようとするときにこれらの文化道も合わせて習うことは非常に有効であります。従い、競技武道のほかにこれら文化道との相互理解も出来るような設備を望みます。</p>	
43	<p>武道に限らず「道」を極める分野の方にも利用していただけるよう、設備を整備してはどうか。例えば、茶道、華道、書道にも利用できる部屋を設置すると、利用者の母数が増えることが期待される。</p>	

No.	ご意見	県の考え方
44	<p>スポーツだけでなく、日本文化に通ずるという点では、和室や茶室、書道や華道などができる部屋やスペースがあると、さらに利用の幅が広がるのではないかと思います。</p> <p>書道大会や書道パフォーマンス、かるた大会などの催しなどもできる施設だと楽しいなと思います。</p>	同上
45	<p>武道を競技だけではなく文化として発信するために、武士道の成り立ちや考え方について、映像やパネル等で展示できるスペースが欲しい。</p>	展示スペースの設置を検討してまいります。
46	<p>ホワイエに、武道に関する図書を紹介するスペースがほしい。</p>	
47	<p>武道に通じる茶道、華道、書道についても、紹介できるスペースを作ってほしい。</p>	
48	<p>研修室や会議室は広く建設し、部屋数もゆとりがほしい。和室があれば利便性が高まる。</p>	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
49	<p>武道の場合、女性比率が低いかもしれませんが、剣道等において男性は観覧席で着替えをされることが多く、逆に女性は必ず更衣室を使用します。大規模の大会等になると女性更衣室が非常に混雑します。(女性更衣室を広くとることを望みます。)</p>	
50	<p>机・椅子のある学習室があると、昇段審査や講習会の際に便利。</p>	
51	<p>子育て世代の利用促進のため、幼児～小学校低学年が遊べるキッズスペースや乳児用の授乳室などを充実させてほしい。</p>	
52	<p>主道場でダンス(ソーシャルダンス等)ができる床を希望します。武道をされる皆さんからは、道場の床を靴を履いてのプログラムには、大変違和感を持っておられます。よって、ダンスで使用するときは、道場床の上に養生シート等を貼り、その上に、別のダンス床(例えば畳を敷くように)を動かさないように設置できればダンス愛好家は、気兼ねなく練習や、大会ができると思います。</p> <p>また、音楽が必須ですので、音響設備も希望します。主道場でほかの種目の同時利用もあると思いますので、簡単な移動壁(仕切り等)や指向性の強いスピーカー等の設置があれば、少しは、音の影響も緩和されるのではないかと考えます。</p>	
53	<p>ホワイエを単なる動線空間とするのではなく、マルシェやイベント区画として有料で開放することで、武道に興味のない人も、武道を身近に感じることができるのではないかと。また、少しでも収益が見込めるのではないかと。</p>	
54	<p>新しい武道館に、県民が広く利用できる、富山市体育館に有る様なトレーニングルームを設置して欲しいです。</p>	県総合運動公園内の陸上競技場にトレーニングルームがあることから、そちらのご利用が可能であると考えています。
55	<p>武道館関係者にかかわらず利用できるトレーニングルーム(トレーニング機器設置のある)の設置を望みます。</p>	
56	<p>新設武道館にもトレーニングジムの設置を希望します。武道に対しても、フィジカル基礎トレーニングは必要であり、県内の武道実技の向上につながると考えています。また、一般のトレーニング需要は多くあり、別途トレーニング教室等の開催も可能となります。</p>	

No.	ご意見	県の考え方
57	長野県武道館にはシャワー室があるそうですが、利用者や選手が利用できる入浴施設やシャワー設備があると、利用者の増加が見込めるのではないのでしょうか。	武道場や主道場付近の更衣室にシャワー設備を設置することとしています。
58	現在の施設（武道館）では広さ、観客席の面で大会等の事業が制限されています。武道も野球、サッカー、陸上競技等々と同様にそれに合った環境を持つ施設で試合や稽古をすることで武道が持つ人格形成、教育を一層充実されることと考えます。武道の拠点として環境の整った施設の整備をお願い致します。	「武道競技の振興・競技力の向上に寄与する施設」として「主道場」、「武道場」を備え、大規模な武道競技の公式大会を開催できるよう、近年整備された近隣の県立武道館と同程度の規模の確保に努めてまいります。
59	これまでの検討は、期限ありきで性急感がある、多額の費用をかけることを考えると検討不足であり、令和9年度中の開館を見直すことも必要である。各市や企業とも連携して腰を据えて、雪国とやまの特徴を持ち、世界に誇れ、人が集まり観光スポットにもなる夢のある武道館を検討してほしい。	富山県武道館については、平成30年度から検討し、令和2年4月に現行計画を策定したところです。その後、現行計画策定後の状況の変化を踏まえ、本年度設置した検討委員会や県議会において、ご議論をいただいたところです。 今後、基本設計においては、専門家や関係団体等のご意見をお聞きしながら良い施設となるよう努めてまいります。

⑤施設整備にあたり考慮すべき事項

No.	ご意見	県の考え方
60	見落としがちなのは競技者等の意見を重視しすぎ、実際、来場する1,000名以上の来場者の施設内での行動予想（飲食、休憩場所）が抜け落ちることが多いので見込む施設とする。 障害者等に対応するバリアフリー施設にすること（車いすは当然であり、視覚障害、聴覚障害など）。バリアフリーとは健常者と障害者が分け隔てなく、同じ空間・導線を共有することが本来のバリアフリーのあるべき姿であると考えます。	子どもから高齢者、障がい者、すべての方が利用しやすい施設となるよう、バリアフリーだけではなく、出入り口など来館される方の動線についても、配慮するよう検討してまいります。
61	実際、その施設でどの程度までの競技を見込むのか存じませんが競技する競技者の意見を反映させること。またパラリンピック競技も近年注目されていることから、同競技者の意見も組み入れる。 研修会などを開催出来る施設であるなら指導者目線での意見を反映させる。	設計にあたっては、競技者だけでなく指導者のご意見などをよくお聞きして対応してまいります。
62	空港近辺に建設することが決まりつつあるようだが、土曜・日曜の大会はともかく、平日の利用の促進を考えなければ、運営は赤字となると推測する。その赤字分を土曜・日曜の大会利用費に上乗せするのは本末転倒である。平日利用策を十分に練って欲しい。その上で、空港近辺である必要性を今一度考えるべきである。	武道に限らず幅広い種目で利用いただくなど、利用促進に努めてまいります。
63	利用促進のために、県民、武道競技の振興・競技者のみならず、世界の人々も集まりスポーツのレジャー化にも対応するよう、開館後の利用促進策など今から検討し推進して欲しい。	

No.	ご意見	県の考え方
64	富山県産の木材による建設を望みます。CLT (Cross Laminated Timber : 木の板を繊維方向が直角に交わるように重ねて接着したパネル) により、建設コストが大幅に減額されます。	県産材の利用については、構造材としての使用が難しい場合でも、内装材等に活用できないか検討してまいります。
65	ソーラーカーポートは、駐車場スペースを有効活用できて、カーボンニュートラルにもなり、利用者も雨に濡れず好評になると思います。	
66	富山県カーボンニュートラル戦略に、レジリエンスを強化するものとして記載されているコージェネレーションシステムがあれば、経済性・環境性+防災機能も発揮できると思います。	
67	武道館の畳は高齢者の避難所としての利用に向いている。その一方で避難所となるときの高気温、低気温に対する空調も考慮が必要。平時の経済性・環境への配慮は当然ながら、災害などに伴う大規模な停電の際も発電や空調ができるコージェネレーションを備えた施設が必要ではないか。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
68	新武道館へ通う際、多くの方は自動車を使用するものと想像します。新武道館の建設に当たっては、立地場所付近での交通渋滞が発生しないよう、円滑に自動車が出入りできるよう配慮が必要です。	
69	現在の富山武道館や高岡武道館も、地域スポーツの振興や、競技人口を維持するために今後も必要だと思えます。マイカーのない県民や学生にとっては、富山駅、高岡駅付近にも、武道館があるほうが通いやすいです。	今回の武道館整備については、県営富山武道館と県営高岡武道館の統廃合により、新たに整備するとの考え方に立っており、既存の両武道館は県営施設としては廃止することとし、廃止後の施設の活用については、地元市をはじめ関係方面と十分に協議し対応していくこととしています。
70	交通の便のよい街中にある富山武道館、高岡武道館を残しておいてほしい。定期的に改修しなければならないだろうが、まだまだ利用できる。	
71	計画されてから長い時間が過ぎていると思います。武道に対する理解が少なく、残念に思います。今度の改定版案が出て安堵しています。この案が決まり、災害対策の整った富山県らしい武道館を期待しています	災害対策については、今後の設計において検討してまいります。

⑥整備費と整備スケジュール

No.	ご意見	県の考え方
72	整備費をもう少し削減できないのか。	今回の武道館整備は、老朽化が進んでいる既存の県営富山武道館と県営富山武道館の統廃合により、新たに整備するとの考え方に立っています。 さらに、武道は「心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、人間形成の道」と言われており、武道館は教育施設としても重要な役割を担っています。
73	事業費については、資材、人件費等これからも上昇するかもしれません。民間資金を活用した事業としての導入可能調査も実施されていることからPPP・PFI事業も検討されると思います。民間企業のノウハウをフルに発揮した事業提案をしてもらうことにより事業費の縮減さらには工期の短縮が期待できると思います。	県では、資材高騰により約110億円に膨らむと見込まれた整備費を今回の計画見直しにより87.3～91.4億円まで削減を図りました。 一方で、運営コストの縮減は重要と考えており、施設の利用促進を図るため、武道競技以外でも活用いただくなど、検討してまいります。
74	年間約1億3千万円の維持管理費、年間収入約1千万円…。民間なら、決して手を出さない事業である。どうか、後世の世代の重い負担にならないよう、空き施設管理にならないよう、費用について検討・見直しすべきである。	また、県総合運動公園内に整備することにより、①武道館と既存施設活用の相乗効果、②官民連携のパークマネジメント導入の検討、③カターレ富山や公共交通機関との連携など県総合運動公園の魅力向上を図っていきたいと考えており、地域活性化に繋がるよう努めてまいります。
75	建設後の管理・運営について、PFI導入で建設が遅れたと認識しているが、さらに二転三転して、PFIを導入しないとのこと。民間活力導入可能性調査にもお金と時間をかけている。指定管理制度となった場合でも必ず民間に委託してほしい。	維持管理・運営手法については、どのような手法が効率的・効果的なのか、今後、よく検討してまいります。

⑦その他

No.	ご意見	県の考え方
76	人口減少及び少子化が富山県内において進んでおり、それに伴い、柔道や剣道などの武道においても、競技人口の減少が進んでいます。新しい武道館が出来たとしても、競技人口の減少は抑えられず、利用者の確保も難しいと思えます。今後、富山県内の武道における競技人口を増やすための具体的な施策等あればお願いします。	競技団体、学校、地域クラブ、地域道場などと一層連携し、競技人口の確保に努めるとともに、子どもたちだけでなく、学生時代競技に打ち込んでおられた方々の取り込みなど、競技の普及振興に取り組んでまいります。
77	武道館に限らず県内にある公共施設の利用申込はWebサイトを通じて可能になるとありがたいです。	武道館の利用申込については、Web対応について検討してまいります。
78	名称に愛称を取り入れてはいかがでしょうか。	施設のコンセプトを「武道競技の振興・競技力向上」に絞り込んだことから、施設の役割を明確に示すことのできる「富山県武道館」が正式名称として相応しいと考えていますが、愛称を設けるかどうかは今後、検討してまいります。